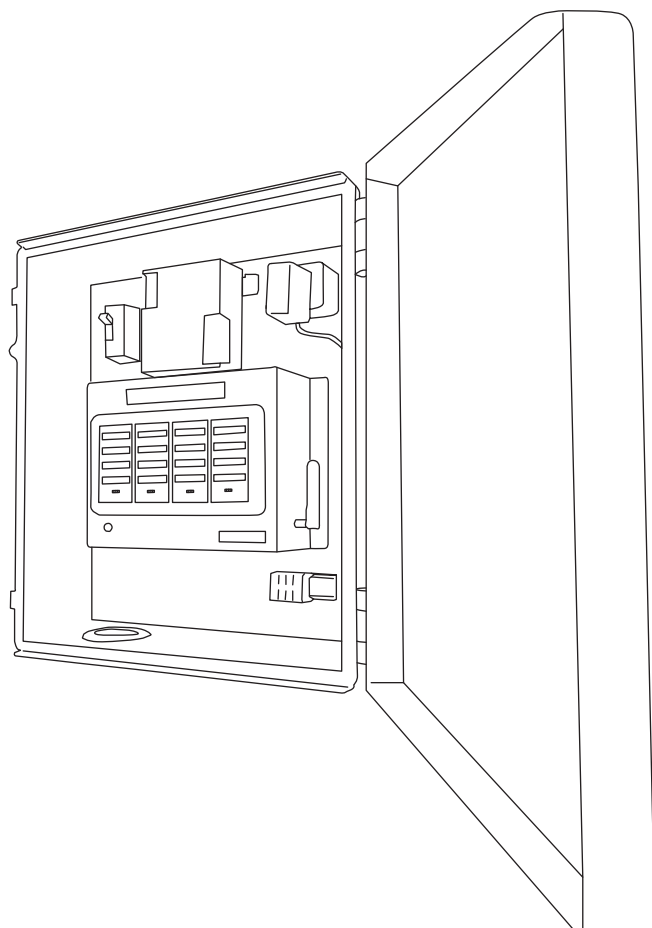


レンタルプラン 設置説明書



もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	2
設置前のチェックポイント	3

レンタル製品概要

レンタルセット内容	4
各部の名称	5-6
製品の特長	7

接続方法

既存分電盤全体を遠隔化する	8-9
接続後の全体構図	10
既存分電盤の子ブレーカー	
既存分電盤の一つを除いて遠隔化する	11-12

スイッチ番号の設定

スイッチ番号の設定方法	13
ディップスイッチ対応表	14
親機のスイッチ番号を変更する	15

機器の取付方法

機器の取り付け方法	16
子機の「遠隔操作」「手動操作」	17

漏電検知ユニットの接続方法

漏電検知ユニットの接続方法	18
JITANスイッチと接続する	19
ディップスイッチを設定する	19

異常検出時の原因と対処法

異常検出時の原因と対処法	20
--------------	----

Q & A

Q & A	21-22
返却方法について	22

その他

製品仕様	23
お問合せ先	24

この製品は海外ではご利用になれません。

このたびは、お買い上げいただきましてありがとうございます。

本製品をご使用時はこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただき、いつでも見るできるよう大切に保管してください。

安全上のご注意 **必ずお守りください**

※器具の施工には電気工事士の資格が必要です、無資格での工事は法律で禁じられております。

工事業者様へ

施工上のご注意



警告 ※器具の施工には電気工事士の資格が必要です、無資格での工事は法律で禁じられております。

必ず実施

施工は電気工事士の有資格者が必ず行ってください。施工に不備があると落下・感電・火災の原因になります。

必ず実施

異常を感じたときは速やかに電源を切ってください。放置した場合、落下・感電・火災によるけがの原因になります。

必ず実施

各機器には設置工事が必要です、D 種（第 3 種）接地工事を「電気設備技術基準」に準じて施工してください。設置工事を不完全な場合、感電の原因になります。

必ず実施

定格電圧で使用してください。定格外の電圧で使用すると、故障・火災の原因となります。

禁止

各機器の取付には方向があります。横向きや逆向き等に取り付けると落下、感電、火災の原因となります。

禁止

分解・改造及び部品を追加変更するなどの改造をしないでください。感電・火災の原因となります。

禁止

本製品の使用は日本国内に限ります。遠隔操作に親機本体に搭載されている通信端末を使って携帯の電波を利用しますので、電波の届かない環境（地下・高層階など）ではご利用いただけません。

禁止

親機・子機はそれぞれ本体下側からの散水に対しては防水性を有していません。また、本体扉を開けた状態でも同様です。内部に水が入りますと、故障・火災の原因となります。また漏電検知ユニットは防水性を有していません。屋外でご使用になる場合には必ず防水性を確保できる箱内でご使用ください。



注意

禁止

腐食性ガスや引火性ガスの発生する場所では使用しないでください、機器の腐食や落下の原因になります。（海風や（塩害）温泉の近く（腐食）など）

設置前のチェックポイント

① 電気工事士有資格者による設置工事

JITAN スwitchの施工取付は必ず電気工事士の有資格者が行ってください。施工取付に不備があると落下・感電・火災の原因になります。

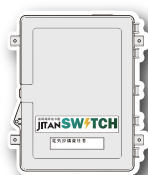


② 使用電源の確認

通常使用できる電源は **±10%以内**

親機

・ 単相 AC100V



子機

・ 単相三線 100V/200V



となっております。単相二線 AC100V を利用される場合は、個別に対応可能ですので別途お問い合わせください。
※電圧は定格電圧の ±10%以内でご使用ください。指定範囲外の電圧で使用された場合、故障・火災の原因になります。

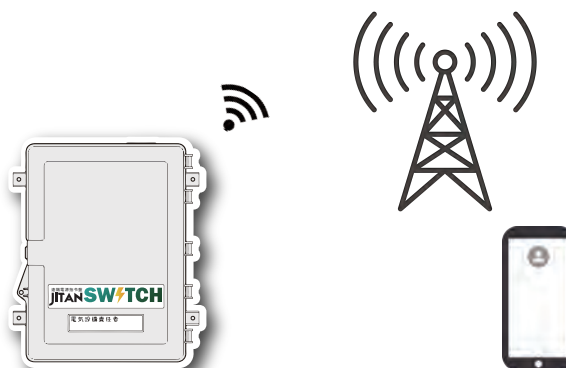
③ 設置場所の通信状態

親機は携帯電話の通信を使用しています。
ご利用前に設置予定場所の通信状態をご確認ください。

※地下や電波が遮へいされる環境あるいは高層階などでは遠隔操作ができない場合があります。

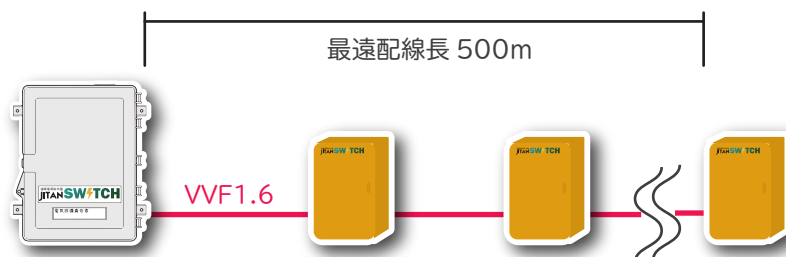
※LTE/3G 回線を使用

親機は手動での操作も行えますので、アクセスしやすい場所に設置されることを推奨いたします。



④ 配線距離の確認

親機と子機はフル2線リモコンの通信ケーブルで接続します。VVF1.6 ケーブルの場合、最遠配線長は 500m となります。また、総配線長は 1,500m までです。それ以上の距離で使用する場合には増幅器が必要となりますのでクエスト担当までお問い合わせください。



■レンタルセット内容■

レンタルセット内容



親機本体



子機本体

子機の数台は親機 1 台につき
16 台までとなっています

漏電検出ユニット
(Ver2 オプション)

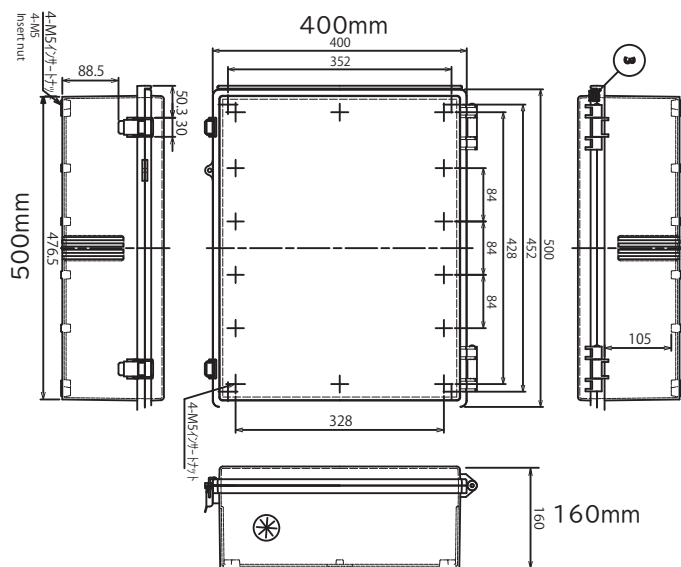
Ver2 のみ子機 1 台につき
1 つまで設置可能です

外形サイズ

親機

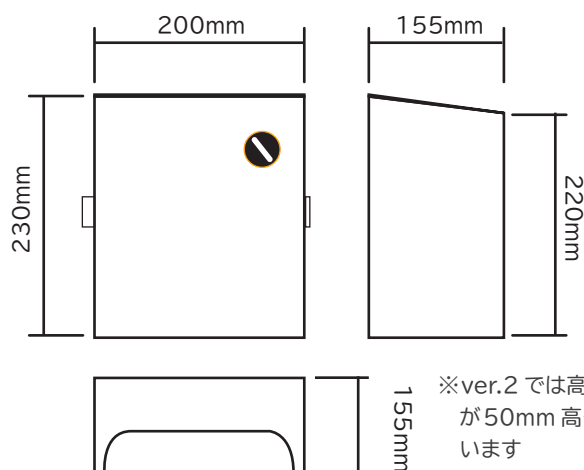
タカチ電機工業製 BCAP4058016G

：ABS 樹脂



子機 (60A)

：ステンレス

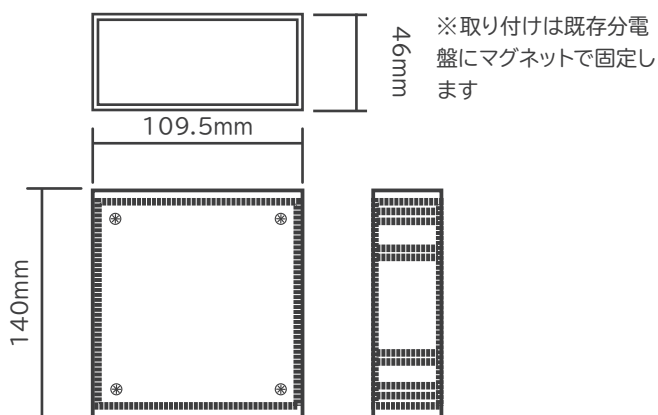


※ver.2 では高さ寸法
が50mm 高くなっ
ています

漏電検出ユニット (Ver2 オプション)

タカチ電機工業製 SY-110G

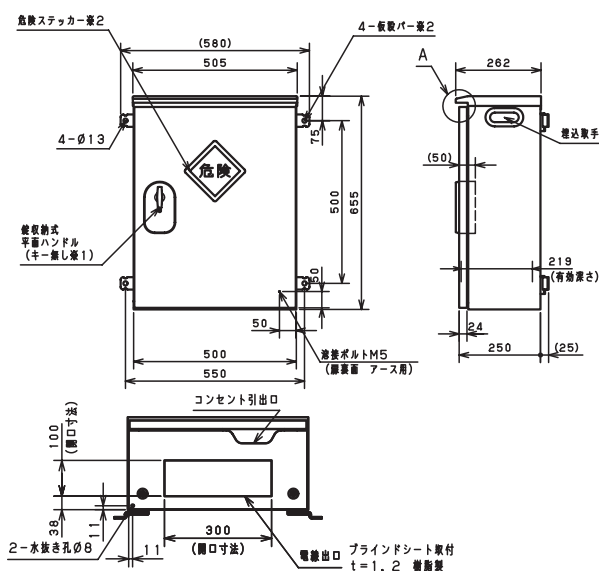
：ABS 樹脂



※取り付けは既存分電
盤にマグネットで固定し
ます

子機 (135A/260A)

：ステンレス



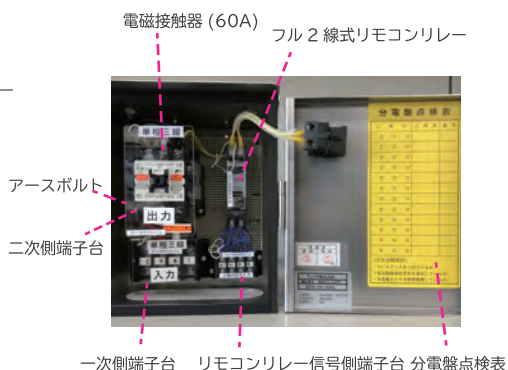
■各部の名称■

子機

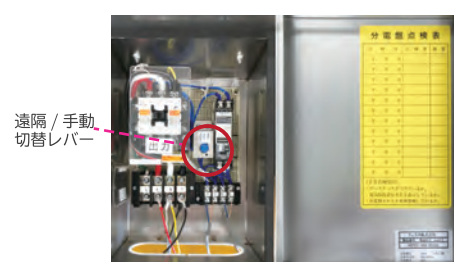
Ver.1 電灯用 (MAX 電流 60A)



遠隔 / 手動切替レバー



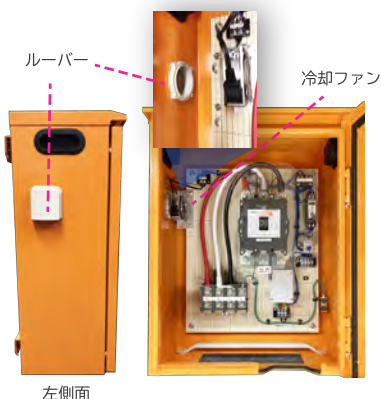
Ver.2 電灯用 (MAX 電流 60A)



- 135A (電灯用 MAX 電流 135A)
(動力用 MAX 電流 80A)
- 260A (電灯用 MAX 電流 260A)
(動力用 MAX 電流 216A)



取り付け手順 2 イメージ



左側面

※冷却ファンに使う「ルーバー」と、鉄箱の背面にある単管に止める「取付金具とボルト、ワッシャ」4セットは、ケース内部に結束バンドで止めて同梱しています。

冷却ファン取付について

冷却ファンのカバーが、オレンジ鉄箱の側面につくため、梱包の都合でカバー（ルーバー）を外したまま出荷し、お客様にルーバーの取付をお願いしております。

取り付け手順

1. 内部の冷却ファン（蝶ネジ留め）を外して、取付スペースを確保
2. ルーバーを外から穴にはめて、内部から留める
3. 取り外してある冷却ファン（蝶ネジ留め）をネジ部に差し込んで蝶ネジで止める

漏電ユニット



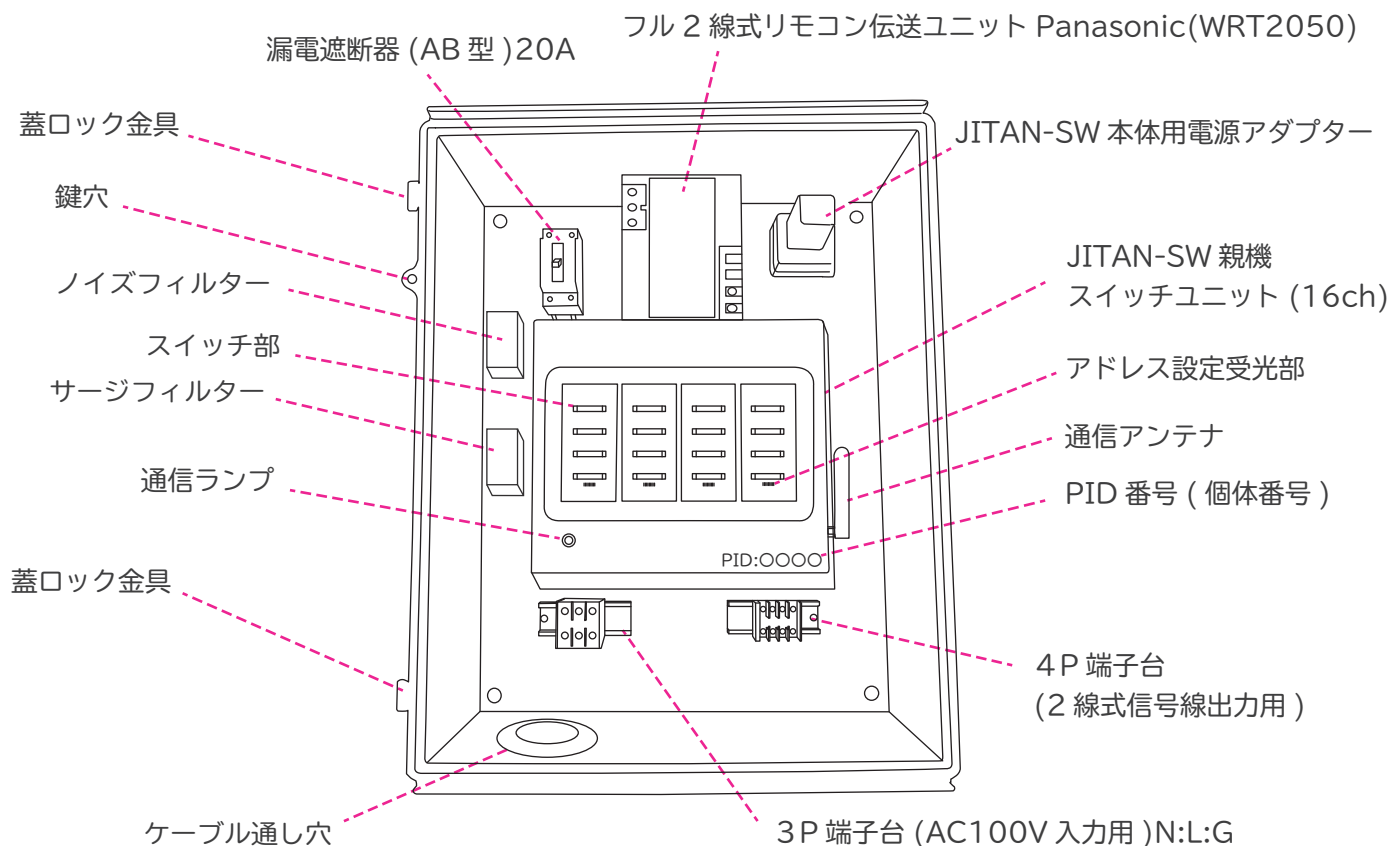
設定用ディップスイッチ

J1TAN スイッチ
接続用端子台

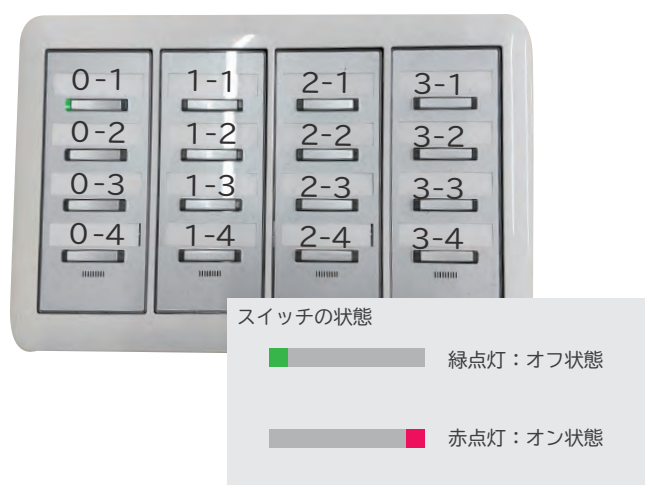
漏電検知用端子台

■各部の名称■

親機



JITAN-SW 親機 (16 ch) スイッチ部



スイッチ番号は上記写真のように0-1 から3-4 と設定されています。子機と接続・通電し、ディップスイッチ番号を合わせると親機が認識し、スイッチランプが点灯、操作可能になります。



スイッチ名称は、スイッチパネル下部にマイナスドライバーなどを差し込みパネルを外し、パネルに書込むか、ネームシールを貼ってご利用ください。パネルをはめる際は、上から押し込んでください。

■製品の特長■

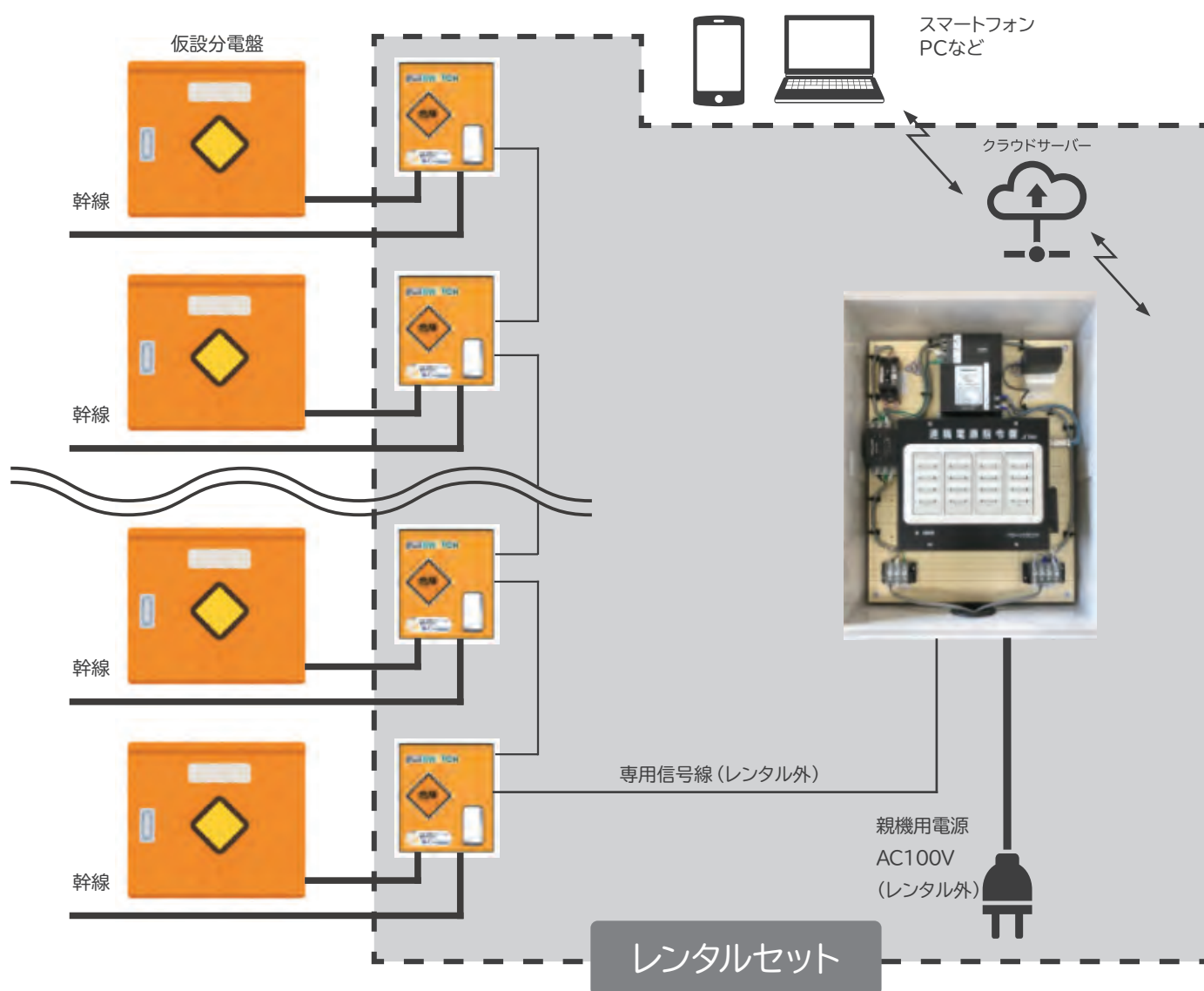
レンタルプラン全体構成・機能

全体の構成を下図に示します。

この説明書では、下図にある遠隔電源指令盤 JITAN-SW について記載します。

遠隔電源指令盤（親機）と子機の間は専用の信号線で接続されており、親機からの手動スイッチ操作によって、子機内のスイッチを入切することができます。また、携帯電話回線を介して遠隔から PC あるいはスマートフォンの画面上でスイッチ操作をすることによって子機内のスイッチの入切することもできます。これによって遠隔から現場の電灯などの電源の入切が実現できます。本システムでは親機 1 台で子機 16 台まで操作することができます。さらに、オプションの漏電検出機能により、分電盤内の親ブレーカ *1 の遮断を検知することが可能です。

*1 Ver2 では子ブレーカ 4 個まで検出できます。

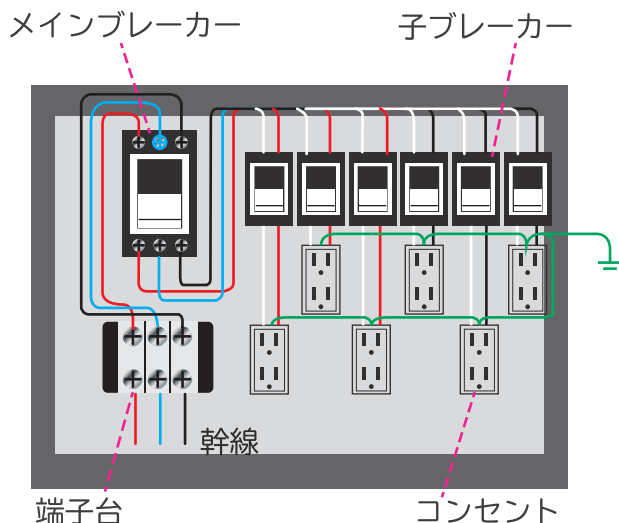


■ 接続方法 ■

既存分電盤全体を遠隔化する

施工接続は、1 次側の電源を落とし必ず有資格者が実施してください。

既存の仮設分電盤例

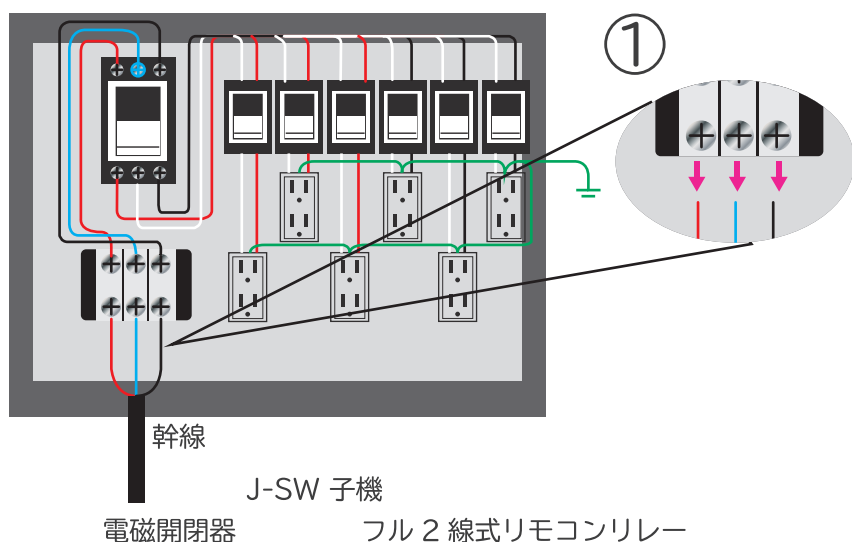


伝送ユニットの信号線は他の VA 線と識別させるため、必ず色違いの配線をご利用ください。

※線の種類は問いませんが、一般的には VVF1.6 の 2C 赤や青を利用しています。

幹線元のブレーカーが OFF になっていることを必ず確認してください。

■ 接続手順 ■

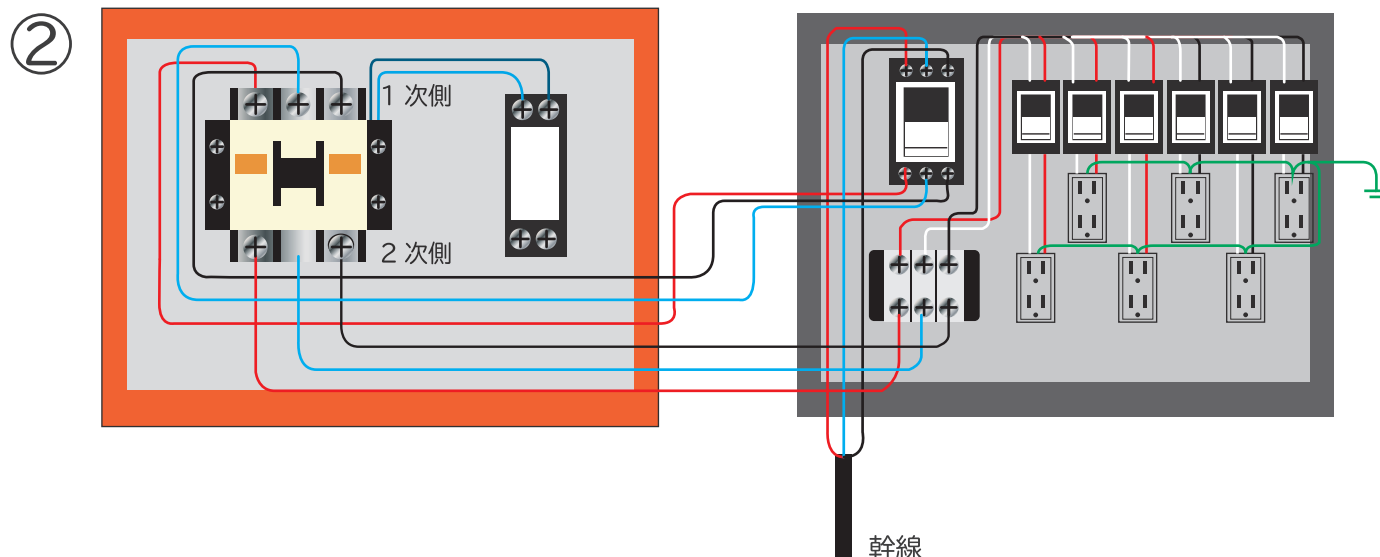


① 既存分電盤の配線変更

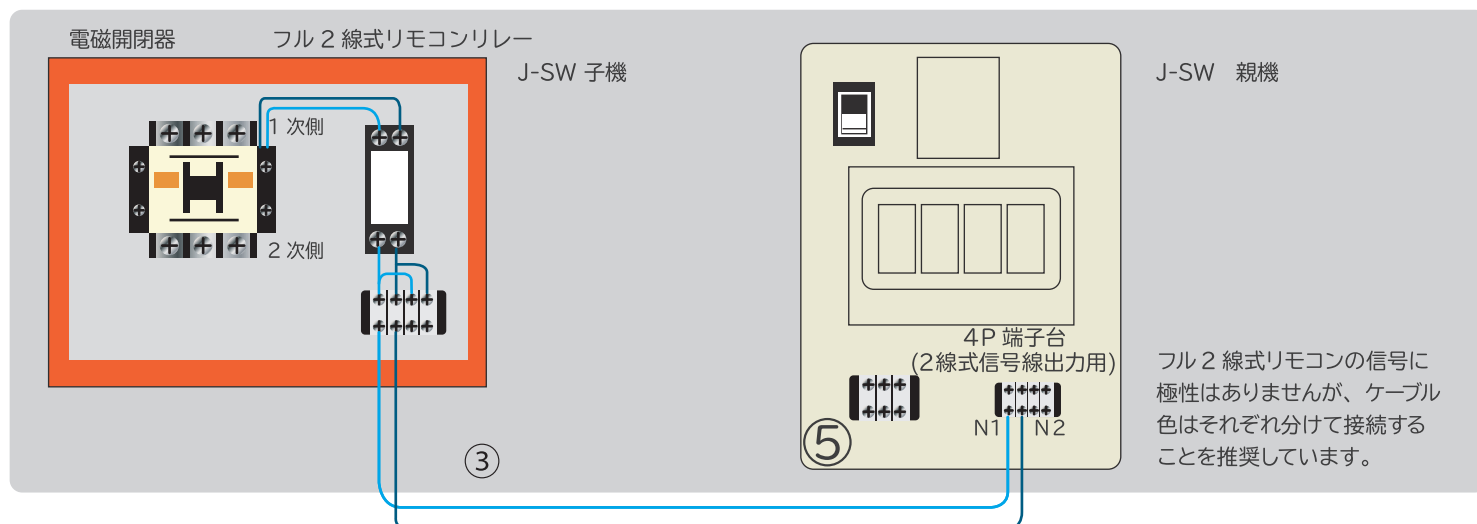
分電盤の幹線が端子台を通じてサーキットブレーカーへ入力されている場合、一度抜きブレーカーへ直接入力してください。

② J-SW 子機と接続する

ブレーカーの 2 次側を子機電磁開閉器の 1 次側へ接続、2 次側を端子台へ接続し子ブレーカーと繋がります。



■接続方法■



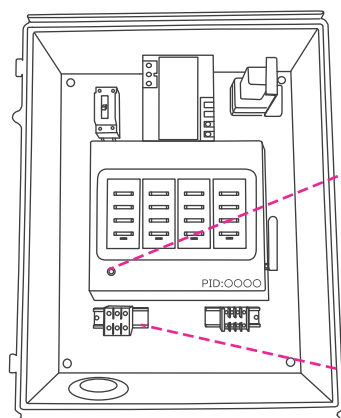
③親機と接続する

親機のフル 2 線式信号線の 4P 端子台と子機のフル 2 線式リモコンリレー端子台を VVF1.6 の 2C (赤または青) にて接続してください。

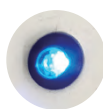
④親機に電源ケーブルを接続

親機の 1 次側端子台に電源ケーブルを接続してください。

■通信状態の確認について■



電源ケーブルを接続しブレーカーを入れると本体が起動し、通信接続が始まります。接続の確立には 1～2 分程度かかります。



通信接続状態



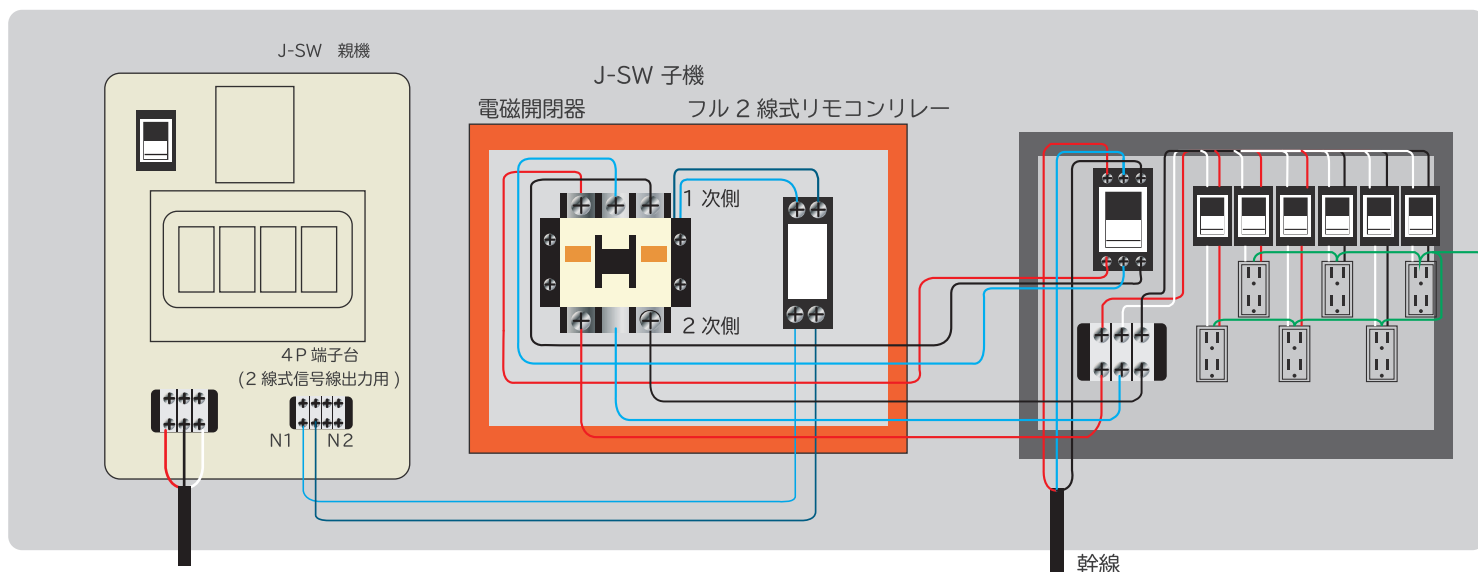
未接続状態

通信接続が完了しない場合、自動で再接続を試みます。(混合色) 数分お待ちください。

※LTE(3G) 回線の届かない環境の場合、本製品はご利用いただけません。

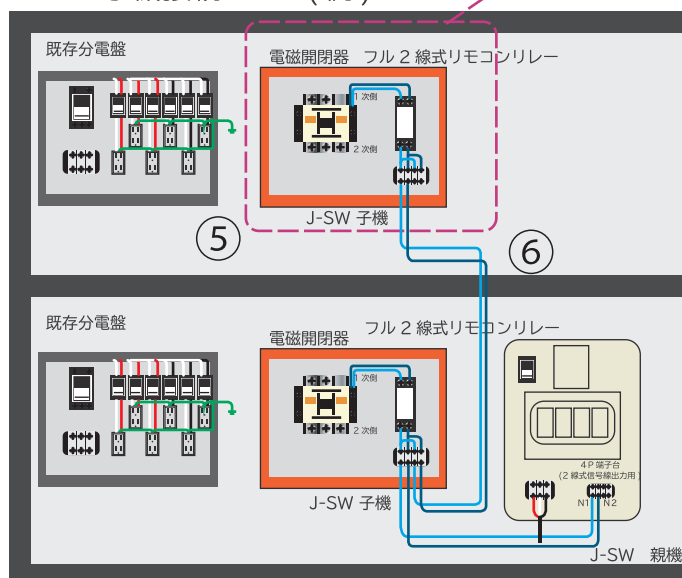
電源ケーブルをつないで、通電テストを行ってください。

■接続後の全体構成図■



子機を追加接続する

2 台目子機接続シーン (例)



2 階

1 階

⑤ 2 台目の子機を接続する

制御したい既存分電盤に対し①～②の作業を実施し、接続してください。

⑥ 子機同士の信号線を接続する

リモコンリレー信号側端子台同士を接続して下さい。

①～⑥の作業を繰り返し、親機 1 台に対し、子機最大 16 台まで接続できます

⚠ 配線ケーブルと長さについて

フル 2 線信号の配線長

フル 2 線信号の配線長は、増幅器 (WR3913) を最大 5 台まで直列に接続可能で、最遠配線長を 3,000 m、総配線長を 9,000 m まで伸ばせます。増幅器 1 台あたり最遠配線長を 500 m、総配線長を 1,500 m 伸ばせます。詳細、規程は、右の図の通りパナソニック多重伝送フル 2 線リモコン取扱説明書を参照ください。

フル 2 線信号の配線長の計算方法

■配線径と配線長

電線種類※1	最遠配線長 (伝送ユニットとスイッチ、 T/U との最長距離)
φ1.6 ~ φ1.2 (2.0 mm ² ~ 1.25 mm ²)	500m
φ1.0 (1.0 mm ²)	300m
φ0.9 (0.75 mm ²)	250m
φ0.65 (0.5 mm ²)	100m

総配線長は、最遠配線長の 3 倍以下です。

※1) 信号線は汎用电線でも可能ですが、電力線との識別および誤結線防止のため、通信用ケーブル (EM-CPEE、CPEV など) をおすすめします。



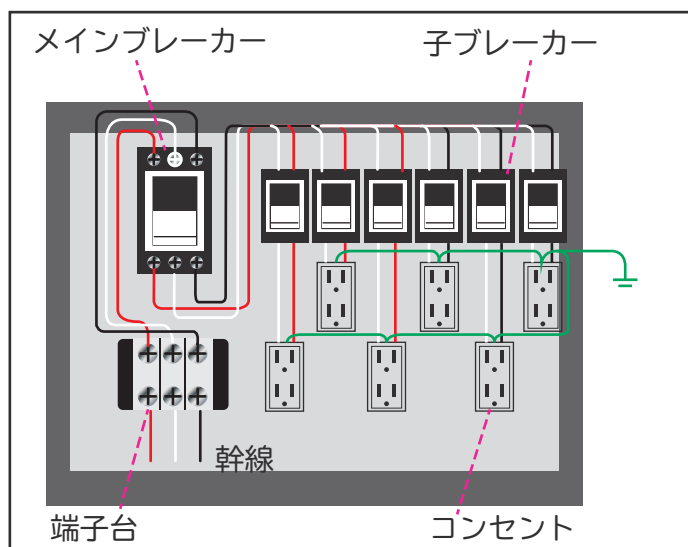
信号線がショートしている場合、動作せずフル 2 線式リモコン伝送ユニットの信号線短絡表示ランプが点灯します。配線をご確認ください。

■接続方法■

既存分電盤の 1 つを除いて遠隔化する

施工接続は、1 次側の電源を落とし
必ず有資格者が実施してください。

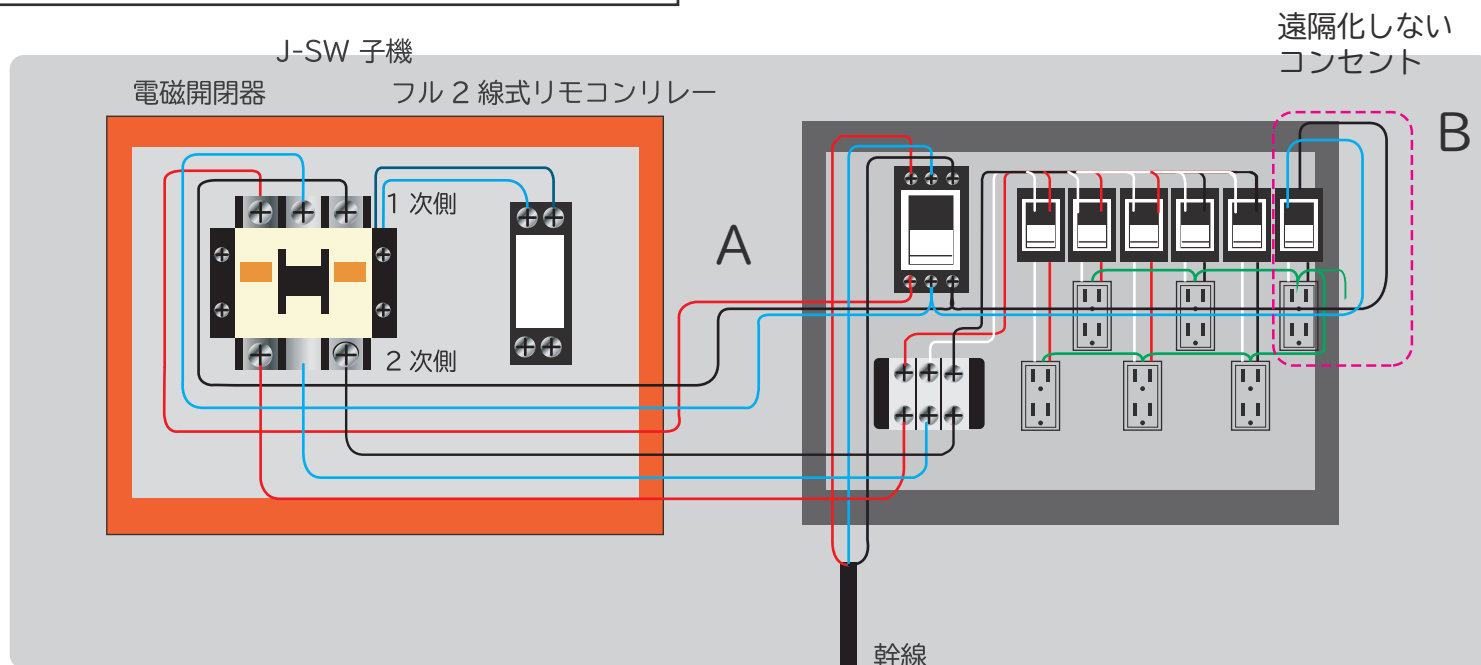
既存の仮設分電盤例



伝送ユニットの信号線は他の VA 線と
識別させるため、必ず色違いの配線を
ご利用ください。

※線の種類は問いませんが、一般的に
は VVF1.6 の 2C 赤や青を利用しています。

幹線元のブレーカーが OFF になっている
ことを必ず確認してください。



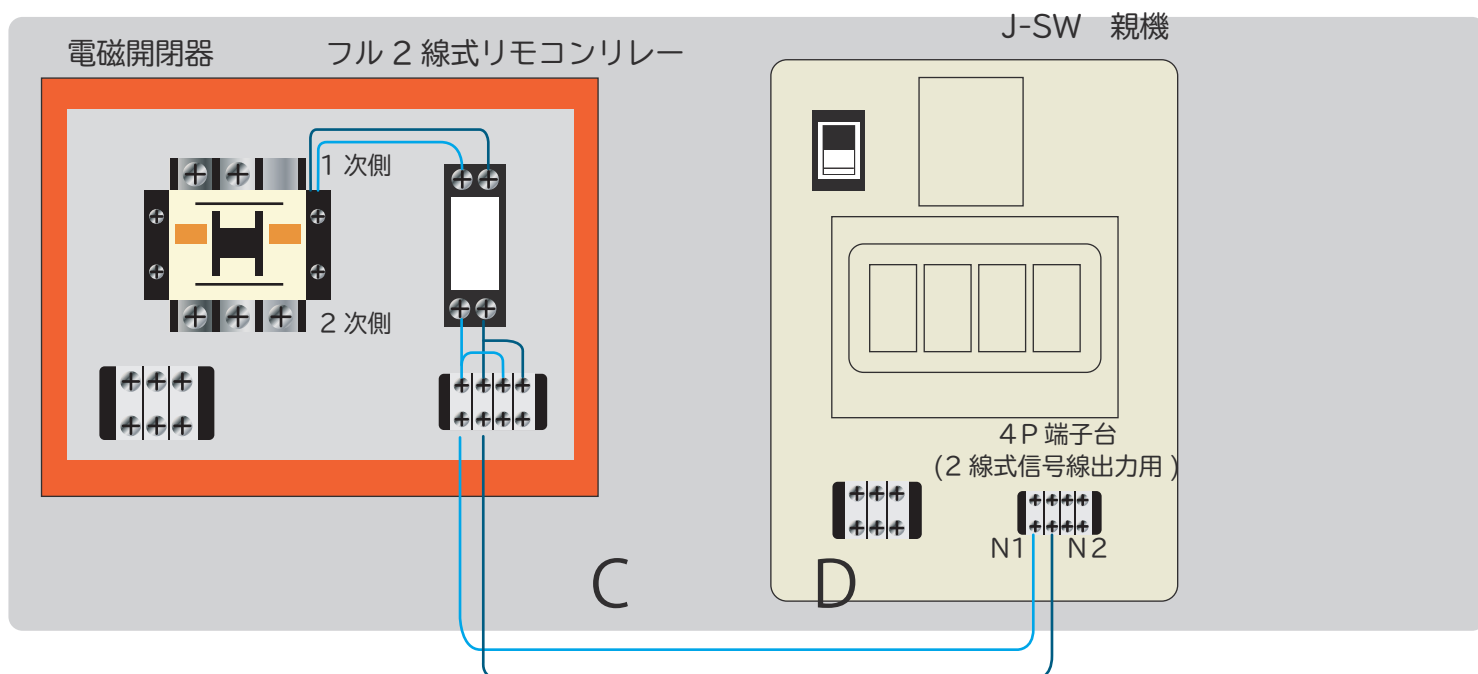
A：既存分電盤の配線変更

既存の分電盤の幹線をサーキットブレーカ
の 1 次側へ接続し、遠隔操作したい 2 次側
の配線の子機電磁開閉器の 1 次側へ接続、
2 次側を遠隔操作したい子ブレーカーと接続
します。

B: 遠隔化しない子ブレーカー

サーキットブレーカーの 2 次側と遠隔操作
しない子ブレーカーを接続します。

親機との接続



伝送ユニットの信号線は他のVA線と識別させるため、必ず色違いの配線をご利用ください。

※線の種類は問いませんが、一般的にはVVF1.6の2C赤や青を利用しています。

C: 親機と接続する

親機のフル2線式信号線の4P端子台と子機のフル2線式リモコンリレー端子台をVVF1.6の2C(赤または青)にて接続してください。

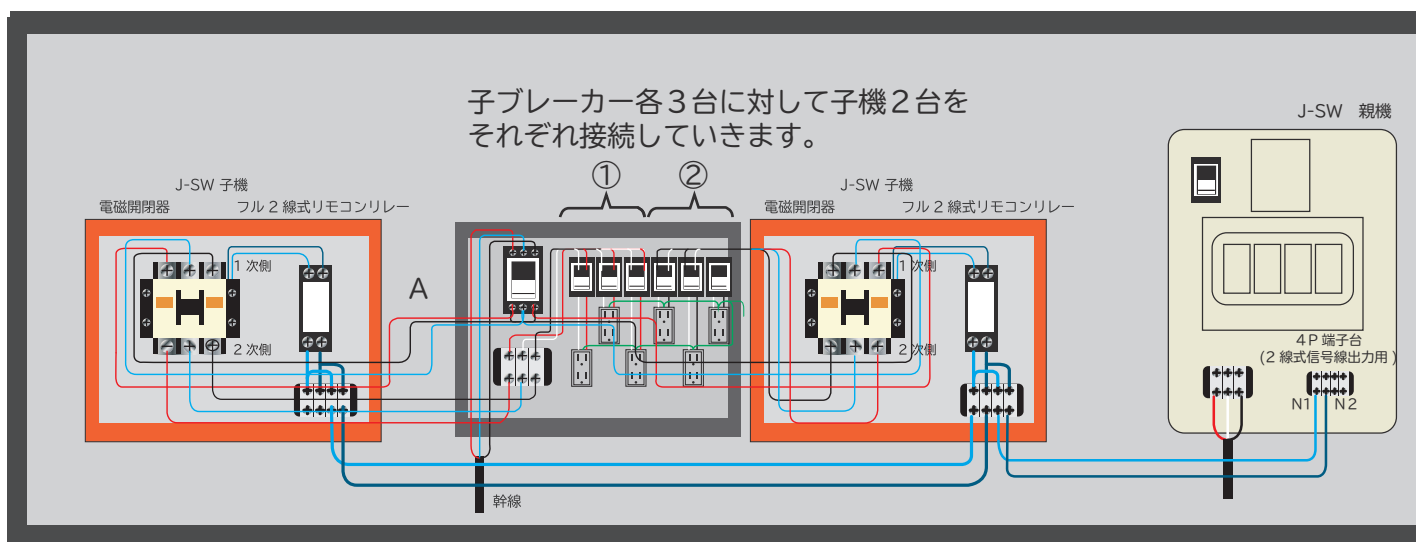
D 親機に電源ケーブルを接続

親機の1次側端子台に電源ケーブルを接続してください。

子機を増やし分割で遠隔操作する

2分割制御の子機接続シーン(例)

1 階



上の図のように接続すると、既存分電盤の子ブレーカー①～②をそれぞれ遠隔操作が可能になります。

■スイッチ番号の設定■

機器を接続、親機と子機のスイッチ番号通電を同一に設定されると対応のスイッチが認識、点灯します。



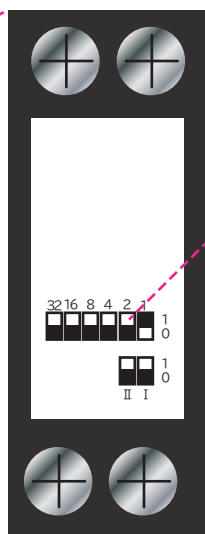
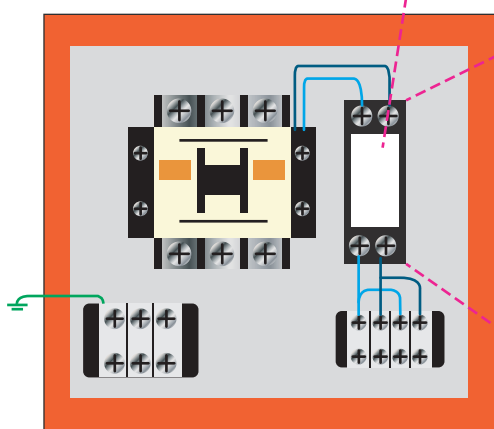
①親機スイッチ番号

初期状態の親機スイッチ部は左の写真のように0-1～3-4まで番号が設定されています。

子機に搭載されているフル2線式リモコンリレー内部のディップスイッチを親機スイッチ番号に合わせてセットしてください。

遠隔操作は、親機のスイッチ番号と子機のディップスイッチの番号をそれぞれ合わせることで動作します。動作前に必ず設定してください。

フル2線式リモコンリレー
子機本体 (1ch)



ディップスイッチ

ディップスイッチは透明カバーを開け、精密マイナスドライバーなどでスイッチを動かしてください。

※設定後は、透明カバーで必ず閉じてください。

ディップスイッチ対応表：初期設定 (0-1～3-4)

3216 8 4 2 1 0-1 I II	3216 8 4 2 1 1-1 I II	3216 8 4 2 1 2-1 I II	3216 8 4 2 1 3-1 I II
3216 8 4 2 1 0-2 I II	3216 8 4 2 1 1-2 I II	3216 8 4 2 1 2-2 I II	3216 8 4 2 1 3-2 I II
3216 8 4 2 1 0-3 I II	3216 8 4 2 1 1-3 I II	3216 8 4 2 1 2-3 I II	3216 8 4 2 1 3-3 I II
3216 8 4 2 1 0-4 I II	3216 8 4 2 1 1-4 I II	3216 8 4 2 1 2-4 I II	3216 8 4 2 1 3-4 I II

ON



ディップスイッチ拡大図

ディップスイッチ対応表 (4-1 ~ 16-4)

 4-1	 5-1	 6-1	 7-1	 8-1	 9-1	 10-1
 4-2	 5-2	 6-2	 7-2	 8-2	 9-2	 10-2
 4-3	 5-3	 6-3	 7-3	 8-3	 9-3	 10-3
 4-4	 5-4	 6-4	 7-4	 8-4	 9-4	 10-4
 11-1	 12-1	 13-1	 14-1	 15-1	 16-1	
 11-2	 12-2	 13-2	 14-2	 15-2	 16-2	
 11-3	 12-3	 13-3	 14-3	 15-3	 16-3	
 11-4	 12-4	 13-4	 14-4	 15-4	 16-4	

■親機のスイッチ番号を変更する■



WRT9500K

使用するアドレス設定器

Panasonic 製 (WRT9630/WRT9600/WRT9500K)

※レンタルにアドレス設定器は含まれません、必要なお客様は別途、ご用意ください。

設定手順 (WRT9500K の場合)

①JITAN-SW 親機のブレーカーを入れ、電源を ON にします。

②設定器の電源を ON にします。(ピーと音がなります)

③親機の受光部に設定器の受発光部を当て、「確認」を 1 回押します。

※液晶下部にエラー表示が出たらもう一度押します。
読取が成功すると右上のスイッチランプが赤く光り、設定器に現在の 4ch 分の設定が表示されます。

④5 秒程で現在の設定が表示されます。初期設定は左側上から順に、「0-1 ~ 0-4」、「1-1 ~ 4」「2-1 ~ 4」、「3-1 ~ 4」となっています。

⑤変更したいアドレス No を設定します。

例) 0-1 ~ 4 に変更する場合

1 段目「アドレスクリアー」を押し、「0」「-」「1」の準にボタンを押し改行、2 段目「アドレスクリアー」を押し、「0」「-」「2」を押す。

4 段全て入力が終わったら、親機の受光部にアドレス設定機の受発光部を当て、「設定」を押します。数秒経過し、「ピー」と音が鳴り、1 段目のスイッチ右側が赤く点灯し設定完了となります。

②



③

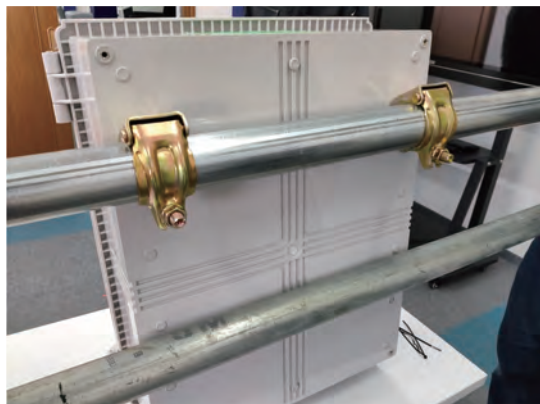


⑤



■機器の取付方法■

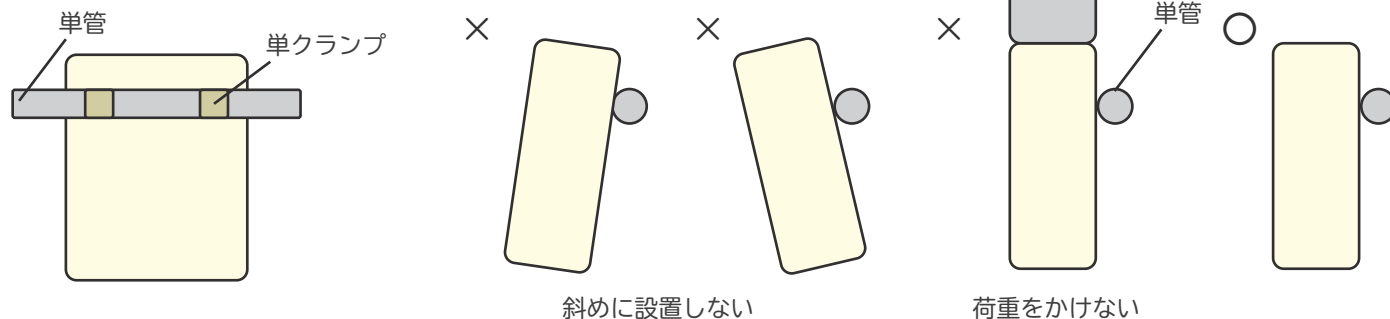
【親機の取付】



①親機背面上部には、ボルトが2個固定されています。ボルトをレンチで外して、それぞれ単クランプの固定穴を通してクランプを固定してください。

②2つの単クランプの間に単管を通し、ボルトを締めて固定してください。

親機背面

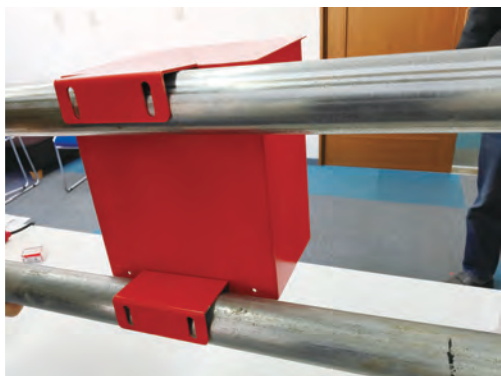


※必ず2か所で留め水平にボルトをしっかり固定してください、落下や破損の原因になります。

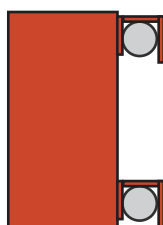
※親機に荷重をかけないでください、落下や破損の原因になります。

※下側から水がかかる場所への設置は避け、降雨時は雨が本体内部にかからないようにご利用ください。

【子機の取付】 背面のL型金具を使って、単管に設置してご利用ください。
必ず上下に単管を通し、水平になるよう設置してください。

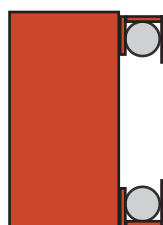


方法①



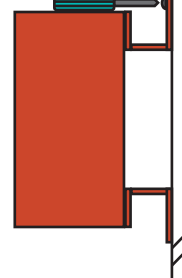
単管に引っかけて設置する。

方法②



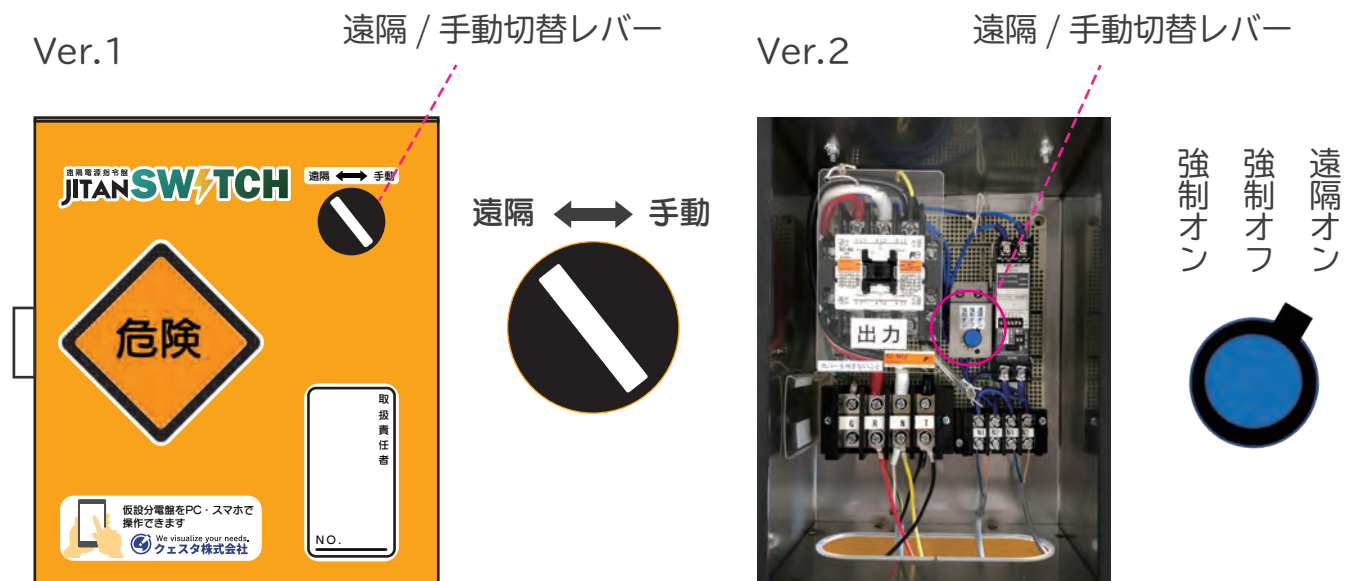
下側の背面金をプラスドライバーで逆にしてしっかりと固定設置する。

方法③



壁面にプラスドライバーでねじ止めする。

■子機の「遠隔操作」「手動操作」■

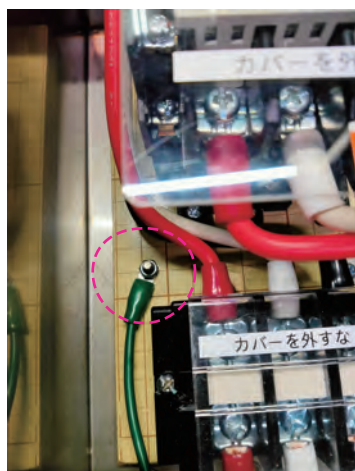


遠隔操作を行う場合、切替レバーを「遠隔」に設定してください。

JITAN スイッチシステムに何らかの要因によってトラブルが発生し、遠隔で操作ができなくなった場合、上記レバーを「手動」または「強制オン」に切り替えて、分電盤のブレーカを用いて操作をお願いします。

※その際、操作画面上は操作ができているように見えておりますのでご注意ください（ver1 のみ、ver2 では異常検知表示）

アース接続



機器は必ずアース接続をお願いします。

SOBA 子機 1 台につき、アース線 2m が 1 本同封されています。設置後には必ず SOBA 子機のアースボルトと既存分電盤のアースバー等を接続配線し接地してください。

鍵での施錠



本体には鍵が同封されています。

ロック番号：000

にて設定されています、施錠ご利用ください。

■漏電検知ユニットの接続方法■

※漏電検出ユニットは、分電盤内の漏電遮断器（ブレーカー）の遮断動作を検出いたします。このため、本ユニットは分電盤のふたの裏側に設置することを想定して設計されています。それ以外の場所に設置する場合にはクвестア担当者までお知らせください。

分電盤内に漏電検出ユニットを設置する

※この作業を始めるにあたり、分電盤の親ブレーカがオフになっていることを必ず確認してください

①漏電検出ユニットを取り付ける場所を決めます。

分電盤のふたの裏側に漏電検出ユニット背面のマグネットシートで取り付けます。
金属製の分電盤ではない場合には、両面テープなどで固定をお願いします。

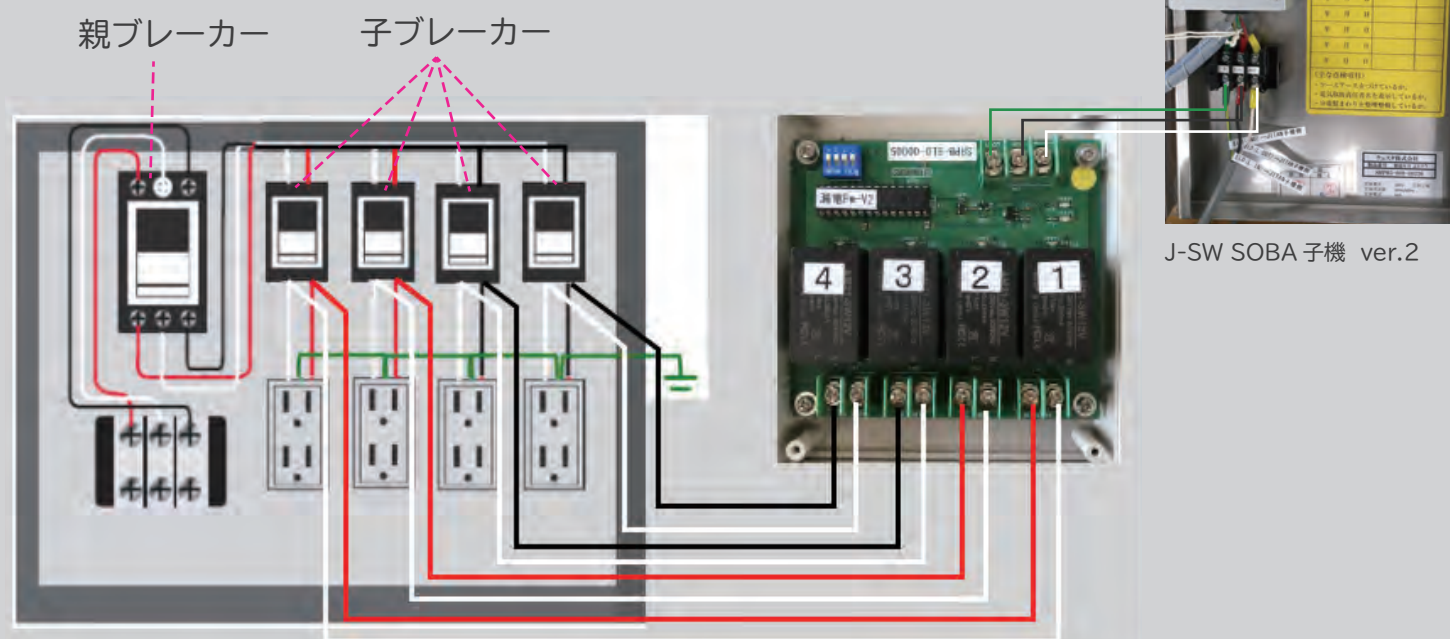
②検知したい子ブレーカを決め、その二次側と漏電検出ユニットを接続します。

検知できるブレーカの数には 1 ～ 4 個となります。

※この際、1 番のラインには必ず接続してください。そのほかの接続は任意の場所への接続で大丈夫です。

親ブレーカの二次側に本機をつなぐことで、親ブレーカの遮断の検出も可能です。

【既存の仮設分電盤】



JITAN スイッチと接続する

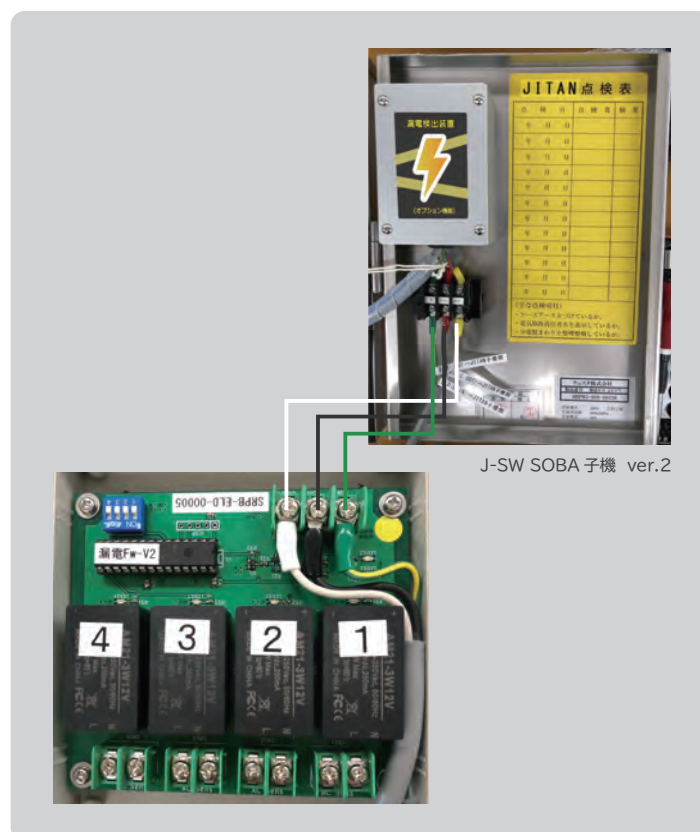
①漏電検出ユニット右上の JITAN スイッチ接続用端子台に接続用ケーブルを接続する。

※使用するケーブルは 0.75SQ/30V 耐圧以上のケーブルをご使用ください。

※盤の外を引き回すこととなりますので、十分な強度と対候性をそなえたケーブルをご使用ください

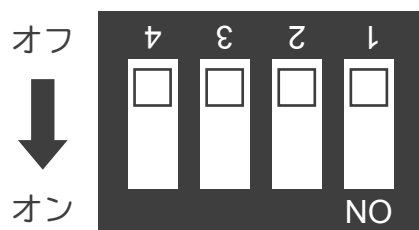
②接続ケーブルの反対側を JITAN スイッチ SOBA子機 ver.2 の下請け側に接続します。

※LIN/LOUT/GND の接続間違いがないようにご注意ください



ディップスイッチを設定する

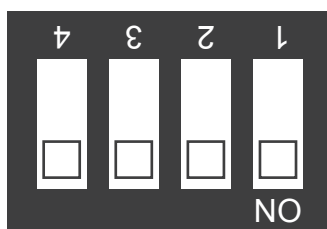
①ディップスイッチをご使用環境に合わせて設定します。



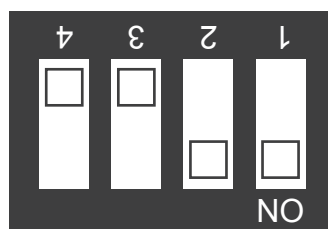
スイッチ 1: 使用するシステムを選択します。
JITAN スイッチ 16ch に使用する場合には、ここをオンにします。そのほかの場合はオフとなります。

スイッチ 2～4: 検知するブレーカの接続先を設定します。
2 つ目以降のブレーカの接続先をオンにします。

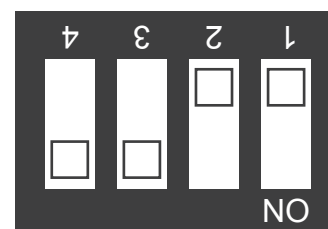
設定例



JITAN16ch に接続し、端子 1～4 すべてで検知をしている場合



JITAN16ch に接続し、端子 1,2 のみで検知をしている場合



JITAN4ch に接続し、端子 1,3,4 で検知をしている場合

■異常検出時の原因と対処法■



漏電遮断の発生や通信異常を検知した場合にはボタン表示が赤点灯となります。赤点灯が発生した場合には以下を参照して対処してください。

漏電オプション設置時のみ

- 原因① ブレーカの許容電流を超えてブレーカが遮断されている
- ・ブレーカの遮断電流を確認し、許容電流の範囲内で運用してください
- 原因② 漏電が発生している
- ・上記対応をしてブレーカをONにしても再度落ちる場合には漏電が発生している可能性が高いので漏電が発生している箇所を特定、是正してブレーカをONにしてください

漏電オプション未設置時

- 原因① 未使用ボタンの表示設定がONになっている
- ・使用していないボタンの表示設定をOFFにしてください
- 原因② 親機⇄子機間通信不具合
- ・親機と子機間の通信ケーブルが断線またはショートしていないか確認してください
- 原因③ 親機⇄子機間通信不具合
- ・子機内のフル2線式リモコンのアドレス設定（ディップスイッチ）を確認してください。アドレスに誤りがあった場合には正しいアドレスに再設定してください
- 原因④ 親機⇄サーバ間の通信不具合（表示中のすべてのボタンが赤or黄点灯）
- ・親機の電源が入っているかどうか確認してください
 - ・操作画面の右側にある「接続状態：●正常」をご確認ください。「接続状態：●未接続」となっている場合、下記お問い合わせ窓口にご連絡ください
- ※遠隔操作ができなくなっているため、復旧までの間は切り替えレバーを「手動」（Ver2では「強制オン」）にしてご使用ください

Ver.2のみ

- 原因① 子機が「強制オン」または「強制オフ」に切り替わっている
- ・子機の切り替えレバーの状態をご確認ください

上記対応後も赤点灯が解消されない場合は下記までお問い合わせください

TEL: **048-485-8593**

 We visualize your needs.
クエスト株式会社

<https://questar.ac>



Q&A

Q：遠隔操作はどうすればできますか？

A：設置工事が完了すれば、専用のウェブサイトから遠隔操作が可能です。

<https://power-controller.cloud-sign.com/>



ご注文後にパスワードが発行され、認証メールの認証が終了すると、認証されたメールアドレスとパスワードでログインができ、操作が可能となります。

Q：距離が離れていても遠隔で操作できますか？

A：JITAN-SW 親機には LTE (3G) 通信端末を搭載しており、電波の通信が行える環境であれば PC、iPad、スマートフォンなどから操作可能です。

※遠隔での操作について、動作を保証するものではありません。

遠隔操作ができない場合、手動にて操作を行ってください。

※通信環境が悪い場合など携帯電話の届かない環境ではご使用いたしません。親機の設置場所の電波環境をご確認ください。



※chromeかsafariをご利用ください。他のブラウザでは正常に動作しません。

Q：こういったものが制御可能ですか？

A：JITAN-SW は仮設分電盤を遠隔で操作するための装置となります。

標準機では単相 3 線の 60A をサポートしておりますが、それ以外の環境への対応も行っております。その際にはクエスト担当者にご相談ください。

Q：屋外で使用できますか？

A：屋外で使用できますが、降雨中の開閉や、下からの雨には防水性を確保できません。その際は屋内に設置し運用してください。

漏電検知ユニットは屋外での使用できません。防水性の確保された箱内でご使用ください。

Q：親機の通信ランプが緑点灯していますが遠隔操作ができません

A：ブレーカーの off/on のによる電源の再投入を行ってください。

Q：電源ケーブルを接続し、投入しても起動しません。

A：一次側の電源、漏電ブレーカの状態、親機子機の接続、ディップスイッチの設定、通信ランプの状態などをご確認ください。

Q：通信ランプが赤点灯して遠隔操作ができません。

A：親機に電源を投入すると、最寄りの携帯電波基地局にアクセスします。その際初回通信の確立には2分程度必要です。確立に失敗した場合には、再トライを自動で行いますが、しばらく待っても改善しない場合にはブレーカのOFF/ONなどによる電源の再投入を行っててください。

上記操作で改善ができない場合には弊社にお問い合わせください。

Q：誤って、破損破壊してしまった場合どうなりますか？

A：自然故障以外の破損破壊についてはお客様のご負担となります。動産保険をご用意しております。ご購入前にご検討ください。

返却方法

Q：レンタルが終了したらどうすればよいですか？

A：レンタル製品は専用の段ボール箱に梱包し発送しております。ご利用終了時まで保管いただき、返却の際は専用段ボールに梱包いただきご返送ください。

※着払いでの発送は受け付けておりません、お客様ご負担にてご返送をお願いいたします。

返送先



We visualize your needs.
クエスト株式会社

【返送先】〒333-0844 埼玉県川口市上青木 3-12-18
SKIP CITY503 号室 TEL:048-485-8593

サーバーメンテナンスの実施について

遠隔電源指令盤JITANスイッチは、操作システムの改善のため、不定期にてサーバーメンテナンスを実施いたします。

土曜日

14:00～15:00

メンテナンス実施中は遠隔での操作が不可となります。
ご迷惑をおかけしますが予めご了承ください。



■仕様■

親機

No.	項目	仕様および説明	備考
	外形	400(W)×500(H)×160(D)	
	重量	約8Kg	
	操作可能スイッチ数	最大16個	
	電源電圧	AC100V±10%	
	消費電力	約40W	
	使用環境	温度：-10～+45℃、湿度：80%RH	結露なきこと
	外部通信	3G LTE（携帯電波）	
	子機との通信	フル2線信号：24V	
	操作手段	操作盤のスイッチの押釦、あるいはPC、スマートフォンの画面ボタンを操作する	

子機（標準機）

No.	項目	仕様および説明	備考
	外形	200(W)×230(H)×155(D) ver.1 200(W)×280(H)×155(D) ver.2	
	重量	約4Kg	
	電源電圧	単相3線：100V/200V	
	最大電流	60A	SC-N2(富士電機製)
	消費電力	約5W	
	使用環境	温度：-10～+45℃、湿度：80%RH	結露なきこと

漏電検出ユニット

No.	項目	仕様および説明	備考
	外形	109.6(W)×140(H)×46(D)	
	重量	約300g	
	検知電圧	100V/200V	
	消費電力	約2W	
	使用環境	-10～-45℃、湿度：80%RH	結露なきこと

※電波法、技術適合認証、電気用品安全法、不正競争防止法を順守して開発しております、ご安心してご利用ください。

※本説明書に記載されている製品名は各社の商標もしくは登録商標です。
※本説明書に記載されている数値は参考値であり、保証値ではありません。
※掲載製品の仕様およびデザインは改良のため、予告なく変更することがあります。
※掲載製品の内容は2021年3月現在のものです。



建設業許可【電気通信業】埼玉県知事許可 般-29
【製造元】〒333-0844 埼玉県川口市上青木 3-12-18
SKIPCITY503 号室 TEL:048-485-8593
【大阪営業所】〒552-0003 大阪府大阪市港区磯路 2-5-5 1F

クエスト

検索

<https://questar.ac/>